

心からのご寄付を ありがとうございました

12月21日～1月20日

切明 蹊	現金	5,000円
浅井み奈子	現金	1,000円
鈴木 亜弥	現金	10,000円
株式会社タクトコーポレーション	現金	30,000円
ヤマダヤ ヤスヒロ	現金	9,370円
ピアノ三重奏(新潟)	現金	120,000円
匿名	現金	10,000円
豊島区明るい社会づくりの会	現金	150,000円
川延那加子	現金	3,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
白相 浩二	現金	10,000円
堀江 英二	現金	5,000円
(社)加須青年会議所	現金	4,713円
谷口富士男	現金	30,000円
福士 恭子	現金	5,000円
吹田江坂ロータリークラブ	現金	52,000円
アオシマ タカミ ヨシミ	現金	20,000円
フカダ ナルミ	現金	1,000円
日立友和会	切手	1,710円
小山 昭三	現金	5,000円
多田そうべい	現金	30,000円
匿名	現金	300,000円
谷口 明子	現金	3,000円
品川 保弘	切手	430円
●佐藤さち子患者支援基金		
切明 蹊	現金	5,000円
新井 友子	現金	5,000円

活動資金の援助をお願いします

銀行口座

三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754

特定非営利活動法人

全国骨髄バンク推進連絡協議会

第2回役員選挙 立候補者一覧

●推薦理事候補者(定数11名)

ブロック	氏名	所属団体名
北海道(1)	畠山茂房	北海道骨髄バンク推進協会
東北(2)	四方田淳 斎藤江美子	宮城骨髄バンク登録推進協議会 福島県骨髄バンク推進連絡協議会
関東甲信越(3)	関つたえ 遠山将一 大橋一三	神奈川骨髄移植を考える会 千葉骨髄バンク推進連絡会 公的骨髄バンクを支援する東京の会
東海北陸(2)	品川保弘	富山県骨髄バンクを広げる会
近畿(2)	名川和志 山村詔一郎	神戸骨髄献血の和を広げる会 奈良骨髄バンクの会
中四国(2)	土居優子 山本清美	つばさの会(広島) しまね骨髄バンクを支援する会
九州(2)	立候補届出なし	

●公募理事候補者(定数9名)※届出順

氏名	所在地
1 金剛 毅	岡山県岡山市
2 三田村真	埼玉県上尾市
3 二見茂樹	東京都大田区
4 池田直樹	東京都品川区
5 猶 克実	山口県宇部市
6 木村 紀	千葉県船橋市
7 中谷康一	東京都小金井市
8 西澤洋子	埼玉県入間市
9 菅 早苗	秋田県本荘市

※なお、ホームページでは、候補者のプロフィール、所信も掲載しています。

1. 投票を行わない推薦理事について
北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中四国の各ブロックにおける推薦理事の立候補者は定数以内であったために、役員選考規程第11条第2項の定めにより、投票は行わず立候補者は推薦理事の有資格者となります。

推薦による理事の資格者は、5月18日に開催予定の2003年度総会(神奈川県横浜市)の議決により次期理事に選任されます。

2. 投票を行う推薦理事について
該当なし

3. 公募理事の選挙(投票)について
公募理事は定数8名のところ、9名の立候補者がありました。そのため、全会員(各加盟団体代表)による投票で選挙を行います。

4. 役員選考委員会の設置について
会長、副会長、九州ブロック推薦理事、監事につきましては立候補者がありませんでした。これらと立候補者が定数に満たない東海北陸ブロックの推薦理事1名の選考につきまして、役員選考委員会の設置をすべく理事会に報告しました。

5. 日程
・第2回告示(投票開始)
1月20日(月) *各会員宛て投票用紙等送付
・投票締切日
2月28日(金) *選挙管理委員会必着
・開票日(第3回選挙管理委員会)
3月8日(土) 11:00から公開にて開票作業
・開票結果の発表
3月10日(月) 文書、HP、機関紙で発表

6. 投票方法
・投票者無記名式による、郵送などの通信制です。
・定数分の候補者名を記入する連記投票です。

昨年10月21日付の第1回告示が行われた全国協議会の第2回役員選挙につきまして、選挙管

理委員会(梅田正造委員長)への届出で別掲の通り推薦理事に11名と公募理事に9名の合計20

名の立候補がありました。これを受け、選挙管理委員会は第2回告示を行いました。

役員選挙第2回告示



発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03) 3356-8217
FAX.(03) 3356-8637
発行責任者:笠原慶一
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

5月全国大会と 総会を横浜で開催

来る5月18日土曜日、神奈川県横浜市開港記念会館(写真)にて全国協議会主催(神奈川県会主催)による「全国骨髄バンクボランティアの集いin横浜」を開催します。全国の骨髄バンクボランティアが一堂に会し、新たな決意を心に刻む大会は、現在神奈川県会と再

生つばさの会のメンバーが中心になって、準備を進めています。翌19日には同じ会場で、特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会の通常総会を開催します。久しぶりに首都圏での開催となり、両日にわたって医療講演・医療相談会も開かれます。

全国のボランティアのみならず、どうぞ横浜にお集まりください。



財団役員へのアンケート 集計結果まとまる

全国協議会が昨春秋に実施した財団役員(理事、監事、評議員)へのアンケート集計結果をまとめました。

回収率は55%、回答率に至っては44%といささか期待はずれでした。集計結果の中にも興味深いデータがありますので、いくつかを紹介いたします。

理事会などの会議運営の問題点については、出席率の低さ、会議時間の短かさ、実のある討議が少ないなどが指摘され、解決策としては、定例開催や開催日設定の工夫などのほか、あて職員の廃止を求める意見がある一方、あて職員が十分に機能することを求める意見もありました。また、役員の一部に

公募制を取り入れる提案もありました。

財団財政問題の解決策としては、保険適用や補助金の増額、寄附獲得努力を挙げる回答が多かった反面、患者のある程度の負担を求める意見もありました。

昨年4月の患者負担金大幅値上げについては、止むを得ない措置としたのが18人、反対が5人、当時の理事会、評議員会での結論が再現されています。また、適正な患者負担金額については、0円(患者負担金の廃止)が2人、20万円以内、20〜30万円、40万円以下との答がそれぞれ1人でしたが、50〜70万円とする回答が4人でした。数字は挙げてはいないものの、少な

くは、充分頑張っている、敬意と感謝などがほとんどでしたが、患者に対しては、意見は遠慮なく言って欲しい、といった意見のほか、医療や財団に情報開示を求め共に考える姿勢の強化を望むものもありました。

一方、ボランティアに対する期待として、医療関係者の欠落を補完する役割や市民・専門家・行政との橋渡し役、NPOとしてのレベルアップ、患者や家族のサポート強化を求める意見があったほか、積極的に国民の中に入る運動展開や、まずは財団ではなくより強いところへ向けられるべきであるといった意見が目を引きました。

最新医療情報 その⑬

GVHDとGVL効果

GVHD (graft versus host disease: 移植片対宿主病)は、移植片に含まれるドナーT細胞がレシピエントの抗原を非自己と認識しレシピエントの皮膚、肝臓、腸管などの臓器を攻撃する病態で、骨髄移植や臍帯血移植後の最も重大な合併症の一つです。重症になると多臓器不全に陥ります。GVHDには急性型と慢性型があり、それぞれ特徴的な症状と病理組織学的所見られます。

GVL (graft versus leukemia: 移植片対白血病)効果は、移植片に含まれるドナーT細胞がレシピエントの白血病細胞を非自己と認識し攻撃する状態です。GVHDとは裏腹に、悪性細胞を駆除する役割があります。

本当はGVHDをなくしてGVL効果だけがほしいのですが、GVL効果の主体は腫瘍特異性T細胞よりも同種移植による応答性T細胞であると考えられることから、GVHDとGVLの分離は困難と考えられています。そこで、GVL効果を抑制せずにGVHDを抑制する方法が考えられています。前者としては、サイトカイン・シールドに代表される前処置の軽減、腸管保護による炎症性エフェクターの選択的な抑制や、IL-12の投与が挙げられます。後者としては、自殺遺伝子を導入したT細胞を用いたドナーのリンパ球輸注、活性化NK細胞やNK-T細胞の投与、腫瘍ワクチンの投与などがあります。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●2002年の年間移植件数758例、ドナー登録者数は2万2802人

昨年1月～12月、日本骨髄バンクを介した非血縁者間骨髄移植は、758例(一昨年は734例、前年比3.3%増)実施され、累計4575例に達しました。伸び率は低くなったものの、月平均60件以上の移植がコンスタントに行われるようになっています。

一方、年間のドナー登録数は2万2802人(前年比2.5%増)で、取消者数は6594人であり、実質増加人数は1万6208人(前年比15.6%増)となりました。しかし、登録者数の前年同月比は、連続上昇していた一昨年とは違って変わり、7月から連続5カ月間下回り、単月のドナー登録者数が2000人を超えたのは、3月、10月、12月のみと全体的に低迷傾向でした。ドナー登録会は、951回(うち献血併行744回)開催され、登録者数は1万1157人(うち献血併行6982人)でした。登録会における登録数が全体の48.9%と高い割合となっています。

●12月骨髄バンク推進月間、一斉登録会各地で開催。

12月の月間ドナー登録者数は2801人で、取消者数は866人、実質増加数は1935人でした。登録会は、169回(うち献血併行114回)が実施され、合計1870人の方にご登録いただきました。前年同月の比較では、回数では133.1%(献血併行150.0%、集団登録107.8%)、登録者数では101.7%(献血併行107.2%、集団登録95.8%)でした。固定窓口での登録者は931人で、前年比111.2%と4月以来の前年を上回る登録者を得られました。

都道府県の登録回数では、長野14回、石川13回、京都12回、愛知11回、福島、沖縄9回、大阪8回、東京、岐阜7回、秋田、新潟、兵庫、広島6回、富山5回、岩手、宮城、静岡、三重4回、北海道、千葉、奈良3回、茨城、島根、徳島、鹿児島2回、青森、山形、栃木、埼玉、山梨、福井、滋賀、岡山、山口、鳥取、香川、福岡、佐賀、大分、宮崎、長崎がそれぞれ1回でした。また、推進月間として各地行政広報、マスコミに多

大なるご協力をいただきました。特に山梨県では、行政とマスコミが一体となり、2時間の骨髄バンクキャンペーンの特別ラジオ番組を放送し、当日のラジオ局での登録会を実施し、回数こそ1回ですが登録会登録者数ではベスト10に入るなど、登録会の広報に一石を投じる結果となりました。

●平成15年度税制改正「骨髄バンク患者負担金が医療費控除の適用」へ

平成15年度の税制改正で、骨髄バンクなど造血幹細胞移植のあっせんに係る患者負担金の医療費控除が適用されることになりました。これらの移植を受けるために必要なあっせん業務に係る費用の位置付けを明確化した上で、15年所得より医療費控除が適用するとしています。

●台湾骨髄バンクの患者負担金が改定されます。
2003年2月1日より、台湾骨髄バンク(Buddhist Tzu Chi Stem Cells Center=BTSCC)の患者負担金が改定されます。2003年2月1日以降に行われる台湾骨髄

骨髄バンクNOW

バンク(BTSCC)のすべてのコーディネーターが対象となります。大きな変更点は、正式検索依頼料が無料から有料となること、採取料が減額となることなどですが、新料金表は財団ホームページ(医師のページの海外骨髄バンク患者負担金)に掲載いたしますので、ご確認ください。

(http://www.jmdp.or.jp/pt/kaigai/index.html)

●日本骨髄バンクの現状(2002年12月末現在)

	12月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,801	164,282	204,695
患者登録者数	133	2,005	13,623
骨髄移植例数	45	—	4,575

(注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。



イオン 店舗で 募金活動

2000年8月よりイオン株式会社(旧ジャスコ)の各店舗に「白血病患者支援募金箱」の設置をご協力いただいておりますが、昨年に引き続き今年も、1月21日から2月20日までの1カ月間、全国の店舗、カンパニー事務局、事業本部の事務所等で重点的に募金呼びかけを行っていただけることになりました。主に各店舗のサービスカウンター付近に募金箱と募金呼びかけ用のハローキティポスターが掲示されます。ぜひとも足をお運びください。



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

宮城
未来を輝らそう、
キャンドルライト
ファンタジー

12月21日宮城県仙台市で「西公園キャンドルライトファンタジー」が開催されました。会場一面に4000個の揺らめく炎に照らされながらチラシ配りをし、ステージでは、織田浩司さん(BIG HORNS BEE・元米米クラブ)が、白血病と闘う友人との出逢いを語り、何かできることはないかと、彼を励ます為に作った「Lead to Love〜見えないものと闘うあなたへ〜」というフルートの曲を演奏してくれました。この曲は「PIECES

OF THE MOON」というアルバムの中に収録されており、「ピース&スマイル」(0901241616809)を通して購入されたCDの売り上げの一部が骨髄バンクに寄付されます。近々、HPも公開予定。仙台で灯った輝きがたくさんの人の心にも灯りますように。(白井)



愛知
真奈美ちゃんの
宝もの展

「真奈美ちゃんの宝もの展」を開催しました。

娘が急性白血病のため11歳で旅立ってから一年。闘病中に病床で毛糸やビーズでたくさんさんのマスコットを作っていました。そのひとつひとつが、娘の、そして家族の大切な宝ものです。一周忌を機に、まな娘が生きた証であるこの宝ものを多くの人に覚えてもらおうと、12月18日から5日間、愛知県一宮市のギャラリーで遺作展を開催しました。「キティ」「トトロ」「たればんだ」などの人気キャラクターや、



たればんだを肩にした真奈美ちゃん

この活動については、マスコミ各紙が取り上げるとともに、テレビの駅伝中継でも紹介されました。

入されたCDの売り上げの一部が骨髄バンクに寄付されます。近々、HPも公開予定。仙台で灯った輝きがたくさんの人の心にも灯りますように。(白井)

正月の箱根駅伝で大PR作戦

1月2日と3日の東京箱根大学駅伝(関東学生陸連)は、両日で10時間以上にわたるテレビ中継は視聴率も30%にのぼる全国民が注目する大イベントです。この箱根駅伝で、昨年は東京の会の大橋一三さんが友人とともに骨髄バンクのキャンペーン活動を、箱根を中心に展開しました。この昨年の活動を発展させ、今年も東京の会と神奈川の会そして全国協議会が資金的に

もバックアップし、関東地区のボランティアが実行委員会を組織して、関東学連も骨髄バンクの大PR作戦に取り組みました。実行委員会はこのために「ハローキティ」が走っている「いのちのタスキリレー・骨髄バンク」と大書したオリジナルののぼりを200本作成し、東京と神奈川の会を中心にしたボランティアは、読売新聞社前のスタート(ゴール)と4つの中継所

(鶴見、戸塚、平塚、小田原)をはじめ、駅伝コース沿いの各所に設置するとともに、駅伝選手に声援をおくり、また骨髄バンクのPR活動を展開しました。また、箱根の宮ノ下では、地元商店街の全面支援を受け、実行委員のメンバーは募金活動なども行いました。箱根組は合宿方式で一部は大晦日から泊まり込み、準備を進めましたが、全国のボランティアから差し入れ支援物資がたくさん届き、全国のボランティアと一体となった活動となりました。



造血幹細胞移植委員会対策について

造血幹細胞移植委員会対策について

第27回理事会報告

1月19日・全国協議会事務局

- ◆協議事項◆
 - 加盟・退会・会費減免・後援等の承認について
 - 第2回理事選挙について
 - 財団患者負担金一括前払いについて
 - CFカード アクニティカード
- ◆報告事項◆
 - 財団理事へのアンケート結果分析について
 - 保険適用推進プロジェクトチームについて
 - 佐藤さち子患者支援基金関連について
 - JASチャリティマイルについて

- ◆報告事項◆
 - 財団理事へのアンケート結果分析について
 - 保険適用推進プロジェクトチームについて
 - 佐藤さち子患者支援基金関連について
 - JASチャリティマイルについて
- ◆報告事項◆
 - 造血幹細胞移植学会での発表について
 - 国立大病院中央診療部門の組織再編の再検討を求める請願書について



12月15日、兵庫県民小劇場において「骨髄移植・さい帯血移植推進合同フォーラム」(主催・兵庫県、NPO兵庫さい帯血バンク、骨髄移植推進財団)が開催されました。第一部では、主催者挨拶に続き、兵庫県内で活動する骨髄、さい帯血両バンク・ボランティアからの活動報告が行われ、兵庫県下の骨髄バンク活動の現状

神戸
骨髄移植・さい帯血移植推進合同フォーラム

日本陸連公認、国内で一番早く行われる指宿市菜の花マラソンに、これまで私が一人でキティちゃんのノボリ旗をかついでフルに出場していました。今回1月12日は、骨髄バンクを介して移植を受けて社会復帰された前迫修さん(鹿児島市33歳)、骨髄バンクでのドナー体験のある浜田和直さん(国分市37歳)、他に3人の女性のご協力があった、6人が10キロに出場してPRしました。

鹿兒島
菜の花マラソン
完走してPR

東京
世田谷ボロ市で
骨髄移植の
普及広報活動

1月15日・16日、昨年12月15日・16日に続き、400年の伝統をもつ世田谷ボロ市に参加しました。ボロ市への参加はボロ市保存会の骨髄移植推進運動に

対するご理解を得て、1996年1月に初めて参加させていただいたのが最初で、今年で8年になります。今回は箱根駅伝でPR活動に着用した防寒着をおそろいで着け、マロー博士・キティちゃんののぼりを立てて定番のチャリ



最愛の妻と

「結婚したら、女房子供に時間を取られて自分の時間なんてないよ!」と結婚前友だちに言われていたにも関わらず、女房のために時間を取られることなんて1カ月のうちに3時間もありません。だって家にいないんだもん。先月我がスイートホームに泥棒が入った。被害総額は10万円(そのうち患者さんからのご寄付が8万円)。私が第1発見者

だったのが、乱雑に引き出しという引出しがすべて開けられているのを見ても、泥棒が入ったなんて気づかなかった。なぜなら最愛の我が妻が「また講演に出かけるのに、急いでピアスでも探しまくって慌てて行ったんだろう」というぐらいにしか思わなかった。

私は幸せ者である。どんなに我が最愛の妻と喧嘩をしていても、妻から患者さんを紹介されれば百万ドルの笑顔を作って、心から話をできる。

私は幸せ者である。キザに言わせてもらおうなら「嵐の中を、炎となってかけ抜けたような5年だった」ような気がする。

今は、今のこの幸せを保ちつつ我が人生を駆け抜けたい! (関口隆:大谷貴子副会長のご主人)